

小学校・文学的な文章		教材別「学習用語」を位置付けた指導内容系統表							
学年	学年ごとの学習用語の位置付け ※初出の学年	教材教育出版	指導内容						
			習得を目指す学習用語	①構成を捉えて読む力	②人物を捉えて読む力	③視点を捉えて読む力	④表現の工夫を捉えて読む力	⑤文種を捉えて読む力	
1	お話 (-3年から「物語」) 人物 (-2年から「登場人物」) 題名 > 一年生の発達段階 ● 文字習得の段階であること ● 抽象的な思考に適していないこと以上を踏まえ、知識としての指導ではなく、学習活動とそれに伴う児童の感覚的な習得を重視する。	おはなしたくさんききたいな	▽▽▽ 「題名」「人物」「お話」 ▽ 教師が繰り返し使ったり児童が体感できる活動を設定したりすることを通して、児童が美意識を伴って認識できるようにする。	だれがどうしてどうなったのかを捉えて読む	人物の気持ちや様子を想像しながら読む			▽ 「お話」と「説明文」のちがいを教師が適宜示しながら学習を進めるようにすることで、児童が文種のちがいを学習を通して実感できるようにしていく。「お話」を進められる力の基礎を養う。	
		くまさんとありさんのごあいさつ			人物の気持ちや様子を想像しながら読む		会話文を楽しみながら読む		
		けむりのきしゃ			人物の気持ちや様子を想像しながら読む		会話文と地の文を区別して読む		
		おおきなかぶ			人物の気持ちや様子を想像しながら読む		繰り返しの効果を感じ取りながら読む リズムを感じながら読む		
		けんかした山			人物の気持ちや様子を想像しながら読む		会話文と地の文を区別して読む		
		スイミー			人物の気持ちや様子を想像しながら読む		比喩表現とさし絵を合わせながら読む		
2	登場人物 (-1年では「人物」) できごと あらすじ 会話文(地の文は3年) 場面・いつ・どこ・だれ > 知識としての指導ではなく、学習活動を通して言葉と意味用法を感覚的に身に付けられるようにする。	「えいっ」	登場人物 できごと 会話文	できごとの順番を捉えて読む	登場人物の行動と気持ちを想像して読む		会話文と地の文を区別して読む	▽ 「お話」と「説明文」のちがいを教師が適宜示しながら学習を進めるようにすることで、児童が文種のちがいを学習を通して実感できるようにしていく。「お話」を進められる力の基礎を養う。	
		きつねのおきやくさま	できごと	できごとの順番を捉えて読む	登場人物の気持ちの変化を想像して読む		繰り返しの効果を感じ取りながら読む		
		わにのおじさんのたからもの	場面	場面を捉えて読む	登場人物がどんな人か想像して読む		会話文と地の文を区別して読む		
		ないた赤おに	場面	場面を捉えて読む	登場人物の変化を想像して読む				
		かさこじぞう	場面	場面を捉えて読む	人物像を捉えて読む		繰り返しの効果を感じ取りながら読む		
		アレクサンドラとぜんまいねずみ	場面 あらすじ	場面とあらすじを捉えて読む	登場人物の気持ちの変化を想像して読む		比喩表現の効果を考えて読む		
3	物語 (-1年では「お話」) 中心人物・対人物 場面・時・場所・人物 地の文(会話文は2年) > 3年生からは学習用語の意味用法を指導して、学習用語を意識して読む活動で使いながら学習を進める。	白い花びら	物語	場面のつながりを捉えて読む	登場人物の気持ちの移り変わりを捉えて読む		会話文と心内語を区別して読む	物語の既習内容を活用して読む	
		のらねこ	地の文 場面	場面のつながりを捉えて読む	登場人物の性格を捉えて読む		会話文と地の文を区別して読む	物語の既習内容を活用して読む	
		わすれられないおくりもの	題名	場面の移り変わりを捉えて読む	人物像を捉えて読む	題名の意味や内容を捉えて読む			物語の既習内容を活用して読む
		モチモチの木	中心人物 対人物	場面の移り変わりを捉えて読む	中心人物について、対人物の関係を捉えながら、心情の変化を捉えて読む		擬人法の効果を考えて読む	物語の既習内容を活用して読む	
		おにたのぼうし	中心人物 対人物	場面の移り変わりを捉えて読む	中心人物について、対人物の関係を捉えながら、心情の変化を捉えて読む		擬態語・擬声語の効果を考えて読む	物語の既習内容を活用して読む	
		白いぼうし	情景	場面の移り変わりを捉えて読む	中心人物の心情の変化を捉えて読む		情景描写の効果を考えて読む	物語の既習内容を活用して読む	
4	物語のしくみ 設定・展開・山場・結末 情景 語り手	一つの花	物語のしくみ 設定・展開・山場・結末	物語のしくみを知り、設定・展開・山場(クライマックス)・結末を捉えて読む	中心人物について、対人物の関係を捉えながら、心情の変化を捉えて読む		記号の効果を考えて読む	物語の既習内容を活用して読む	
		ごんぎつね	語り手 設定・展開・山場・結末	設定・展開・山場(クライマックス)・結末を捉えて読む	中心人物について、対人物の関係を捉えながら、心情の変化を捉えて読む	語り手の視点を捉えて読む	倒置法の効果を考えて読む 情景描写の効果を考えて読む	物語の既習内容を活用して読む	
		木竜うるし	設定・展開・山場・結末	設定・展開・山場(クライマックス)・結末を捉えて読む	中心人物の心情の変化を捉えて読む		ト書きの効果を考えながら読む	脚本の特性と読み方を学ぶ(基本物語の既習内容を活用して読む)	
		いつか、大切なところ	設定・展開・山場・結末	設定・展開・山場(クライマックス)・結末を捉えて読む	中心人物について、対人物の関係を捉えながら、心情の変化を捉えて読む	語り手の視点を捉えて読む	情景描写の効果を考えて読む	読みを深められるようにする。 高学年では、既習内容を繰り返し取り上げ定着を図るとともに、自分で気付く	物語の既習内容を活用して読む
5	クライマックス(山場) ファンタジー ノンフィクション	大造じいさんとがん	山場 クライマックス	山場(クライマックス)を捉えて読む	中心人物について、対人物の関係を捉えながら、心情の変化を捉えて読む	語り手の視点を捉えて読む	情景描写の効果を考えて読む	物語の既習内容を活用して読む	
		雪わたり	ファンタジー	ファンタジー作品の構成を捉えて読む	中心人物について、対人物の関係を捉えながら、心情の変化を捉えて読む	語り手の視点を捉えて読む	情景描写の効果を考えて読む	ファンタジー作品の特性と読み方を学ぶ	
		みずぶさがしの旅	ノンフィクション	物語との構成の違いを考える	人物の行動や気持ちに気を付けて読む	筆者の視点で話が進むことを捉えて読む	筆者の自分の思いや考えを伝えるための表現の工夫を考えながら読む	ノンフィクションの特性と読み方を学ぶ	
		あの坂をのぼれば	視点 一人称	山場(クライマックス)を捉えて読む	中心人物の心情の変化を捉えて読む	一人称視点について知り、その効果を考えて読む	情景描写の効果を考えて読む	物語の既習内容を活用して読む	
6	随筆 視点 一人称・三人称 伝記	薫風 「迷う」	随筆	筆者はどのような構成で書いたのか考えて読む	筆者の思いや考えを捉えて読む	筆者の視点で書かれていることを捉えて読む	筆者の自分の思いや考えを伝えるための表現の工夫を考えながら読む	随筆の特性と読み方を学ぶ	
		川とノリオ	視点 三人称	設定・展開・山場(クライマックス)・結末を捉えて読む	中心人物の心情の変化を捉えて読む	三人称視点について知り、その効果を考えて読む	情景描写の効果を考えて読む	物語の既習内容を活用して読む	
		きつねの窓	ファンタジー	ファンタジー作品の構成を捉えて読む	中心人物の心情の変化を捉えて読む	語り手(一人称)の視点を捉えて読む	情景描写の効果を考えて読む	ファンタジー作品の既習内容を活用して読む	
		伊能忠敬	伝記	時系列で書かれていることを捉えて読む	伝記で描かれている人物の思いや考えを捉えて読む	筆者の視点で書かれていることを捉えて読む	筆者の自分の思いや考えを伝えるための表現の工夫を考えながら読む	伝記の特性と読み方を学ぶ	
		あつたけ	随筆	設定・展開・山場(クライマックス)・結末を捉えて読む	中心人物の心情の変化を捉えて読む	語り手の視点を捉えて読む	情景描写の効果を考えて読む	物語の既習内容を活用して読む	